

「三省まつり」 明後日はいよいよ本番！

「めあて（見通し）」と「ふり返し」そして「次へのつながり」を大事にしながら取り組んできた全校発表や学級発表。昨日の「子ども三省まつり」では、一人一人が自分の役割を果たそうとしっかりと取り組んでいる姿が印象的でした。どの学年の発表からも「最後の三省まつり」にかける思いの強さが伝わってきました。

さあ、明後日はいよいよ「三省まつり」の本番です。今年のテーマは、「30人一人一人が全力で、最高の笑顔の中川いっばいに届けよう！」です。中川地域のみなさんに、元気いっばいな姿と最高の笑顔で、中川っ子30人の思いをお伝えします。子どもたちの一生懸命な姿に大きな声援と温かい拍手をお願いします。



自分の頑張り、みんなの頑張りを振り返り、「次の成長」へとつなげてい「く振り返り」(昨日の様子から)

うちどく ～『家族で読書』カードより～



- 「ざりがに」をよみました。たまごは、めすがうみます。ざりがにがだっぴをするのを、はじめてしました。
【ザリガニの特徴を知ることができました。塩ゆですると食べられることを知り、びっくりしました。】
1年 O. Nさん
- 「あそぼうの虫のもり」を読んで、いろいろな虫がかくれんぼをしていたのしそうだと思います。
【「あそぼうの虫のもり」を読んでもらいました。いろんな所でかくれんぼをしながら懸命に生きている虫たちの生活の様子が分かり、命の大切さや自然の楽しさが伝わりました。】
2年 K. Aさん
- 「うみのいきもの1000」を読んで、海には、こんな生き物があるんだなあと思いました。
【「うみのいきもの1000」を読んで、その場所に合ったたくさんの生き物がいて、見ていて楽しかったです。】
3年 K. Kさん
- 「わけあってぜつめつしました」という本を読みました。ぜつめつした理由が書いていて、おもしろい本でした。
【どうして絶滅したのかが分かりやすく書いていて、とても楽しめました。】
4年 H. Sさん
- 「ハリセンボンがふくらんだ」を読んで、魚の顔は全部ちがうということが分かりました。フグの歯は丈夫だということも知りました。ハリセンボンの針は何本あるか数えてみたいです。
【水族館で魚を見る目が変わりました。ただ魚を育てているだけではなく、研究もしていたんですね。】
5年 T. Yさん
- 野口英世の伝記を読みました。心に残っている場面は、インドに行って黄熱病の研究をしたところです。
【去年、福島の野口英世記念館を見に行ってきたので、改めて読んでみて、新鮮な気持ちになりました。】
6年 T. Sさん

スマホは『人をサルにする道具』？

東北大学と仙台市教育委員会の共同プロジェクトとして、2010年から継続して仙台市立小・中学校に通う約7万人を対象に「子どもたちの学習意欲をどのようにしたら向上させることができるのか」を脳科学、認知科学、心理学の側面から明らかにするために研究した結果は次の通りでした。

(出典：「スマホと学力『小中七万人調査』大公開：文藝春秋2019年4月号)

- ①毎日2時間以上家庭学習をしても、携帯・スマホを3時間以上使用すると、家庭学習をしない生徒より成績が悪い。(携帯・スマホを使用しない生徒との比較)
- ②家庭学習をしない生徒は、携帯・スマホの使用時間の長さに比例して点数が低くなっている。

これらの原因を調べるために、「スマホの使用全般が人間の脳に及ぼす影響」について研究した結果は、次の通りでした。(脳の前頭前野の活動の比較：記憶や学習に深く関係する部位)

★言葉の意味調べについて

- ③国語辞典で調べると、脳の前頭前野が活発に働く。
- ④スマホを使って調べると、脳の前頭前野は全く働かず、放心状態でいるときよりも低下した。

★手紙を書くことについて

- ⑤手で書くと、脳の前頭前野がしっかりと働く。
- ⑥パソコンや携帯で入力すると、脳の前頭前野はそれほど働かない。

★インターネット利用の習慣について

- ⑦インターネット習慣が多い子どもは、そうでない子どもに比べて、脳全体の体積が増加していない。(脳の発達が阻害され、勉強がなかなか頭に入っていない。)



携帯・スマホの長時間の使用や、極端なマルチタスキング(複数の作業を頻繁に切り替えること)により、1つの作業を30秒程度でどんどん切り替えていく習慣が当たり前になり、それ以上の時間を我慢することができなくなっているということでした。そのため、この研究を中心になって進めた東北大学加齢医学研究所長の川島隆太教授は、「とにかく、乳幼児期から小学生、中学生くらいまでの時期は、スマホを使用してほしくない。」という結論にいたったそうです。

この記事を読んでドキッとしたことがありました。私は、タブレットを使うようになって6年目になりますが、意味の分からない言葉を調べるときに以前に比べて辞書を使うことが少なくなったなあと感じます。また、文章を集中して読む時間が徐々に短くなってきたように感じます。これは、加齢によることもあるのかもしれませんが、使いすぎはよくないということを感じました。

さて、最後に、脳の発達を促すために有効な方法をご紹介します。



◎脳への悪影響をデトックス(解毒)して、脳の発達を促すために有効なのは「読書」である。

仙台市における、学力検査と読書習慣の関係に関する調査結果は、次の通りでした。

- ⑧読書習慣のない子どもは、2時間以上家庭学習をし、6時間以上眠らないと平均点を超えない。
- ⑨毎日1時間以上読書をする子どもは、30分程度の家庭学習と6時間以上の睡眠で平均点を超える。

季節は秋、正に読書の季節です。時間の使い方を見つめ直し、読書に親しんでみませんか。

口座振替6回目です 準備をお忘れなく！

10月1日(火)が学校納金口座振替の第6回引き落とし日です。「ついうっかり残高不足で…」というケースがあるようです。6回目がせまってきましたので、どうか通帳を確認の上、学校納金への準備をお願いします。なお、振替手数料が、お子様1人につき1回10円がかかります。申し訳ありませんが、その分も入金くださるよう合わせてお願いします。